



株式会社笑下村塾 創業者

# たかまつななさん

1993年神奈川県生まれ。フェリス学院出身のお嬢様芸人として、テレビ・舞台で活動する傍ら、お笑いジャーナリストとして、お笑いを通して社会問題を発信している。18才選挙権を機に、若者と政治の距離を縮めるために、2016年、株式会社笑下村塾を創業。2018年3月、慶應義塾大学大学院政策メディア研究科、東京大学大学院情報学環教育部修了。同年4月からテレビ局にディレクターとして入局し、笑下村塾の社長は退任。

〔写真〕 田中和弘

## お笑いで社会を変えたい

芸人、社会起業家、テレビ局ディレクター——若きマルチプレイヤーの原動力

〔取材・文〕 藤本 江里子 | 税理士、中小企業診断士、多摩大学大学院MBA客員教授。立命館大学文学部卒業。立命館大学大学院法学研究科修了。都市銀行、会計事務所、コンサルティング会社等での勤務を経て、現在は中小企業へのコンサルティングや、執筆活動を行う。

〔取材・監修〕 原 正紀 | 株式会社クオリティ・オブ・ライフ代表取締役・高知大学客員教授・成城大学非常勤講師。中小企業診断士。早稲田大学法学部卒業後、大手メーカー、株式会社リクルートを経て、独立。産学公団に対し、採用・育成・人事制度構築など、人材関係の幅広い提案を行う。著書に『採用水河期』（日本経済新聞出版社）、『優れた企業は日本流』（扶桑社）、『インタビューの教科書』（同友館）など多数。

HARA's BEFORE

ネタ番組で拝見して以来、お嬢様芸人としてのユニークな芸風はとても気になっていた。お笑いを通して子供たちの政治教育に取り組む事業をしていると知り、興味はさらに増した。しかも大学院在学中に創業した学生起業家でもあり、すでに事業承継まで経験している。どれ一つとっても特徴あふれる側面を、この若さでいくつも併せ持ったかまつさんの話には、ビジネスヒントが満載に違いない。



Umano! — Nana Takamatsu

東京都内の笑下村塾の事務所にて。左から、藤本、スタッフの飯田裕子さん、たかまつななさん、原。

「面白い会社を経営する若い女性のお笑い芸人がいる」と聞いたとき、取材して面白くないわけがないと思った。その人、たかまつななさんは、お笑い芸人、社会起業家、テレビ局ディレクターの“3足のわらじ”を履くマルチプレイヤーだ。

副業解禁時代に、今、たかまつさんから学ぶべきことは多いのではないかと。株式会社「笑下村塾」の創業から現在に至るまでの軌跡をたずね、マルチプレイヤーの原動力を探りに行った（藤本）。

を教える出張授業「笑える！政治教育ショー」を展開されていますね。まずは笑下村塾の創業理由を教えてください。

たかまつ：お笑いで社会問題を伝えたいのに、思うように伝えられず悶々としていたときに、18歳選挙権導入が決まり、「今しかない！」と思ったのです。これは70年ぶりの改正で、もし16歳選挙権の導入が70年後にあったら、その時はおばあちゃんだな、と思って(笑)。

政治に興味がない生徒さんにも伝えたくて出張授業にしました。学校のカリキュラムに組み込まれるため強制力があり、他の授業と比べて面白いと思ってもらえる。社会を変えていくためには、個人の活動ではなく仕組みが必要と考え、会社組織にして、お笑い芸人さん100人を集めて出張授業に行こうと、起

続きは雑誌で

### 子どもたちに政治を教える出張授業

原：たかまつさんはお嬢様芸人としてテレビなどでもご活躍ですが、全国の子供たちに政治